

便意のない便秘の患者さん（つまり、下剤に依存している重症の患者さん）の腸を内視鏡で見ると、ほとんどに、この大腸メラノーシスが認められます。腸の粘膜が褐色だったり、ひどくなると真っ黒になったりしているのです。

下剤は使い分けが大切

便秘のタイプについては、30ページで、一般的な分類である「直腸性便秘」「弛緩性便秘」「けいれん性便秘」を紹介しました。

しかし、患者さんを実際に診てみると、これらのいずれかにきちんと当てはまるというほど単純明快ではありません。そのため、私は左表のように、便秘のタイプを障害部位、原因別に5つに分類して、それぞれに合わせた下剤を処方する方法で治療を行っています。下剤にも、先ほどの「大腸刺激性下剤」などのように、種類によって作用を及ぼす腸の場所が変わるからです。

例えば排便を我慢しているうちに便意がなくなってしまうタイプでは、直腸や肛門に障害があると考えられます。そこで、浣腸や新レシカルボン坐剤[®]などを使います。

また、腸管の癒着による便秘は、小腸や結腸が障害を受けているので、アントラキノン系

便秘の新しい分類と有効な便秘薬の種類

障害される腸の部位や便秘の原因	便秘の原因となる障害	有効な便秘治療法や薬
1. 小腸	<ul style="list-style-type: none"> ① 術後腸管癒着症 ② 炎症性腸疾患 ③ 薬剤の副作用 	<ul style="list-style-type: none"> ① 塩類下剤 [酸化マグネシウムなど] ② オリーブオイル ③ ヒマシ油 ④ 漢方製剤
2. 結腸	<ul style="list-style-type: none"> ① 弛緩性便秘症 [下剤長期連用による二次的障害]を含む ② 大腸メラノーシス [アントラキノン系下剤長期連用]による二次的障害を含む ③ 術後の腸管癒着 ④ 薬剤の副作用 ⑤ 加齢による腸管機能の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ① 大腸刺激性下剤 <ul style="list-style-type: none"> 1. アントラキノン系下剤 [センナ、大黃、アロエなど] 2. フェノールフタレン系下剤 [フェノバル、ピサコジールなど] 3. その他 [ピコスルファート製剤など] ② 塩類下剤 ③ 微温湯による腸洗浄 ④ 漢方製剤
3. 直腸・肛門	<ul style="list-style-type: none"> ① 直腸反射の消失 ② 肛門反射の消失 ③ 腸管の切除によるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ① 腸管刺激性下剤 <ul style="list-style-type: none"> 1. 浣腸剤 [グリセリンなど] 2. 新レシカルボン坐剤®
4. 消化管内容物の減少	<ul style="list-style-type: none"> ① 偏食 [食物繊維摂取量の減少] ② 加齢による食事量の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ① 食物繊維 <ul style="list-style-type: none"> 1. 不溶性食物繊維 [セルロースなど] 2. 水溶性食物繊維 [難消化性デキストリン、ポリデキストロースなど] ② 水分
5. ストレス	<ul style="list-style-type: none"> ① 心理的ストレス ② 物理的ストレス ③ 月経前症候群 [PMS] 	<ul style="list-style-type: none"> ① 薬物療法 [トランキライザー、漢方製剤など] ② 食事療法 [γ-リノレン酸] ③ 音楽療法

(著者による新案)

下剤と小腸刺激性下剤の適応となりますが、使用のしすぎに注意が必要です。というのも、アントラキノン系などの結腸刺激性下剤を連用していると副作用で結腸の動きが悪くなるからです。アントラキノン系下剤の量を少なくするか、ほかの結腸刺激性下剤を使用し、オリブオイルなど小腸刺激性の下剤などを併用します。さらに、便が硬い場合は便を軟らかくする塩類下剤を使います。

ダイエツトで便を作るだけのじゅうぶんな食事量を摂取しないため、便秘になっている人もいます。この場合は腸よりもむしろ腸を通る便のもと（消化管の内容物）に問題があり、食物繊維や水分の摂取が有効です。

もちろん、複数の障害を併せ持っているケースも少なくありません。患者さんのそれぞれの障害部位を見極めることができれば、適切な下剤を処方することができます。もちろん患者さん自身、下剤依存症に陥ることもなく、副作用も最低限におさえて、排便力を取り戻すことができるのです。

便秘に有効な漢方薬

漢方薬は、いくつもの生薬（天然の動物や植物から作る薬）の組み合わせで構成されている